

大阪大学図書館報

Vol. 6. No. 5/6. December. 1972

図書受入業務（業務の機械化〔3〕）

初期入力

購入すべき図書が決定すると、1冊の図書につき書誌的事項を含め138字（下図参照）を紙テープに穿孔して入力する。

入力項目

取得手段	品名	数量	単価	金額	外貨コード	書店コード	予算コード	資料タイプ	支出科目	相手方	受入番号
9(1)	X(78)	9(5)	9(8)	9(8)	X(2)	X(2)	X(5)	9(1)	9(1)	X(20)	9(7)

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
購入 0	米 ド ル S	和 洋	国 0	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
寄贈 1	ポ ン ド L	単 0 1	病 1	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
科研 2	ド イ ツ マ ル ク DM	雑 2 3	研 2	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
管理換 3	フ ラ ン ス フ ラ ン F	視 4 5	委 3	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
供用換 4	ス イ ス フ ラ ン SF	未 6 7		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
編入 5	ス エ ー デ ン ク ロ ー ネ SK	他 8 9		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
修理 6	デ ン マ ー ク ク ロ ー ネ DK			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
寄託 7	ベ ル ギ ー フ ラ ン BF			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
8	オ ラ ン ダ ギ ル ダ ー HG			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
その他 9	ク フ ロー リ ン HF			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	イ タ リ ヤ リ ラ Li			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

予算チェック

約170件の予算差引単位（講座・研究室等）毎に予算残の有無を確認し、残があれば「購入ファイル」；なければ「購入予定ファイル」に書き出す。「購入予定ファイル」中のレコードでも、後日予算が配布されれば抽出して「購入ファイル」に移換できる。

会計処理

購入ファイルの内容は、1週間分まとめて「見積依頼書」に出力し書店に渡す。この内容に誤記があれば書店から申出てもらい修正する。修正済レコードから、支出負担行為書案を作成（書式その他本決りになっていない。）するとともに、予算差引処理をし、一ヶ月に1回「予算差引簿」を出力する。（これは、各部局にも送る。）

また、図書請求及命令書・管理通知書の受入番号は自動出力し、一方、受入統計その他の管理情報も出力できる。

速報類の作成

受入手続の終わった図書は、図書管理通知書とともに受入掛から目録掛に送られるが、目録掛では、図書の整理が終ると図書管理通知書記載の受入番号をキーに主題コード（請求記号：図書の背に貼ってある数字）を紙テープに穿孔入力する。このレコードを、講座・研究室別にソートし、「整理済図書通知書」を作成して各研究室等へ送り、図書の引取りを依頼する。一方、図書館内に配架される図書については、この「通知書」を、前々号4頁で述べたブックカード穿孔用データとし利用する。

「通知書」に出力した同じレコードは、分類別にソートして「図書月報」を作成する。ちなみに従来本館では、人員と業務量との関係から到着速報類を一切出していないかった。また、この「月報」1年分をキュムレイトして「受入目録」を作成することもできる。

共通貸出券制度取扱い1部改正

昭和45年6月15日より改正実施してきた現行制度の取扱いを1部改正し、昭和47年10月1日より実施する。

改正理由

昭和47年4月1日より稼動した本館の貸出業務の電算化により、豊中地区（理・薬・基礎工学部を除く）の利用者の所持する貸出券（「図書閲覧証」）が電算機に作られたものであるため、共通貸出券制度に定められた規則の遵守をチェックすることが困難になった。

改正

豊中地区（理・薬・基礎工学部を除く）教職員学生に対し別箇に「共通貸出券」を交付する。ただし教養課程の学生のうち文・法・経・人間科学部の学生は本館で交付し他はそれぞれ所属学部の分館（室）で交付する。

共通貸出券の様式は Brown 方式、Network 方式のいずれかとし、本館で交付する貸出券は Network 方式、他は Brown 方式とする。貸出券の有効期限はそれぞれの館（室）の規則に従う。

貸出規則

貸出規則および貸出券無効表示は現行通りとする。

- 1) 貸出規則は相手館の規則に従う、ただし貸出冊数および罰則は全館共通の規則を設ける。
- 2) 貸出冊数

教職員学生を問わず、全館含め2冊以内とする。

罰則

- 1) 貸出期限を1週間以上超過すれば「共通貸出券」の資格を抹消する。
 - a) Brown 方式 1回違反した場合2枚のうち1枚が無効になり、その年度内は残りの1枚でしか借りることができない。
 - b) Network 方式 1回違反すると、貸出券にその由捺印され、上と同じく1冊しか借りることができない。

なお「共通貸出券」としての資格を失っても所属の館では従来通り有効である、ただし教養課程の学生は除く。



本館 (Network 方式)

中之島 (Brown 方式)

ポンド建て図書館のレート値下げ

今回のポンド急落に伴ない、11月1日から、1ポンド当り、諸経費込みの洋書レートを924円とすることになった。この価格は、9月に比べて32円安、昨年8月のいわゆる「ニクソン・ショック」から比べると156円安になる。

昭和47年度 大学図書館職員長期研修会に参加して

第4回目の大学図書館職員長期研修会は本年7月25日から8月19日まで、中央青年の家、図書館短期大学、東京大学総合図書館、慶応義塾大学を会場として、主として国立大学の図書館から約40人の職員を集めて実施された。

この研修会の内容は資料論、図書館業務の機械化および人文社会科学、理工学、生物科学の各分野別の参考業務が中心となっており、前回、前々回と重点は異っていないらしい。ところで研修会の目的だが、この館報の紙上で前回、前々回の参加者によって論ぜられたところでもあり、更にこれについてはより良い筆者がいるのだからここでは書かない。とすると書くべきことは参加者としての感想にかぎられる。

まず1ヶ月近い期間、普段の仕事をはなれ、図書館学の講義を聞き、討論をし、実修をする機会をもてるということだ。これは次のような効果をもとう。

1) 長期間実務をはなれることによって、現に行っている仕事とは異ったより広い観点から図書館を見ることが出来るようになる。またこの研修会で行われたいくつかのすぐれた講義は参加者に新しい観点をあたえるものだった。

2) 図書館学全体について一連の講師から新しい知識を与えられたこと、このことと上記1)により参加者は個々の大学図書館が直面している問題について以前より、より明晰な考えをもつことが出来たこと。そこで次のようにいってもよかるう。講義の内容が広い範囲にわたったことは、これについて参加者からの内容が希薄なものになるという批判があったにもかかわらず有効であった。

次に多くの大学の職員とともに参加していたことだ。これは有益だった。参加者がお互の実情について情報を交換することが出来たからである。そしてこのような機会に交わされた情報の内容は、講義のそれとは異り、ペダントリックなところが全くなく、しかも実務と直結した

ものであり、それ故図書館に課せられた問題についての速効のある示唆であった。またそれが失敗した例についてのものであっても、問題解決の過程で行われるべき trial and error の一つとして価値あるものであった。このような情報は非公式のルートを通じてより活発に交換されるものだ。この研修会はこのような route を全国的に組織的につくり出しつつある。そのような意味で、今回私立大学から参加があったことはよいことだ。

最後にこの研修会の講師と実際の世話をなされた図書館短大の職員の方々に感謝しつつ筆をおく。
今井義雄（吹田分館運用掛）

学生希望図書 一本館一

マクロ経済活動の分析 (上)
M.K.エバンス 片渕 泰 (鹿島出版)
野鳥を飼う 仲田幸男 (丸ノ内出版)
第二創世記 A.ローゼンフェルト
巻 正平 (早川書房)
イギリスの小さな町から
加藤秀俊 (朝日新聞社)
現代詩論 1.3.4.7.9
鮎川信夫 他 (晶文社)
老 い (上), (下) シモーヌ・ド・ボーヴォ
ワール 朝吹三吉 (人文書院)
バルト神学とその特質
吉永正義 (新教出版社)

数理生物学序説 J.M.スミス
押田勇雄 (みすず書房)
西遊記 (上) 中国古典文学大系 31 (平凡社)
シンポジウム日本歴史 第10巻 (学生社)
トーマスマン全集 1.2.3.4.7.9.10 (新潮社)
人間の運命 第5, 6巻 芹沢光治良
マルクスエンゲルス全集 第26/Ⅱ, 29巻
岩波講座 現代物理学の基礎 第6巻
(岩波書店)
荷風全集 19, 20 (〃)
小湊 潔 にんにくの神秘 (叢文社)
沖縄県の歴史 (県史シリーズ47) (山川出版)

教官著作寄贈図書

一本 館一
越田 豊 (教・助教授)
教養の生物学—ヒトを中心とした比較生物学—越田 豊著 (培風館 昭47)
一吹田分館一
石谷清幹 (工・教授)
工学概論(機械工学大系53)(コロナ社昭47)
西田俊夫 (工・教授)
ORハンドブック (朝倉書店 昭47)

岡田光正 (工・教授)
建築計画決定法 (朝倉書店 昭47)
一産研図書室一
杉本孝一 (産研・助教授)
金属材料科学—金属と合金の構造と性質への入門—Hornbogen / Warlimont 著
幸田成康監修 河野修 / 杉本幸一共訳
(コロナ社 昭47)

本館受入参考図書

6—11月に受入済みのもの
海運統計要覧 '72 (日本船主協会)
全国学校総覧 昭和47年度 (東京教育研究所)
日本気候図第2集 '72 (地人書店)
世界大百科事典 第1—35巻 '72 (平凡社)
中国貿易要覧1972年度(日中貿易促進協議会)
観光要覧 昭和47年版 (日本観光協会)
地方自治便覧 '72 (地方財務協会)
科学技術白書 昭和47年 (科学技術庁)
コンピュータ白書 '72(日本経営情報開発協会)
交通安全白書 昭和47 (総理府)
世界の企業の経営分析 昭和46年 (通産省)
World Guide to Universities pt. 1—2
(Bowker)
Meyers neues Lexikon, Bd.2, '72 VEB

Bibl. Inst.
Who was Who in the USSR '72
(Scarecrow Pr.)
Deutsches Wörterbuch, Bd.10 von J.
Grim zc. (S.Hirzel)
The World of Learning 1971-72
Who was Who in Science in Europe '72
Subject Guide to Books in Print. 1-2
(Bowker)
American Men and Women of Science '71
(J. Cattell Pr.)
The Publishers' Trade List Annual '71
(Bowker)
The Encyclopedia of Philosophy 1-8,
ed. by P. Edwards (Macmillan)

配置換 岩崎 悦男 (47.8.1付 整理課会計掛へ 医学部用度掛から)
 今井 義雄 (47.9.1付 吹田分館運用掛へ 中之島分館目録掛から)
 深川 圭子 (47.9.1付 工学部電気工学科図書室へ 閲覧課閲覧掛から)

辞 職 森沢佐知子 (47.8.15付 閲覧課閲覧掛)
 貴船万知子 (47.8.31付 整理課受入掛)
 岸井 信子 (〃 中之島分館運用掛)
 木村 郁代 (47.9.15付 整理課目録掛)

年末年始の休館のお知らせ

年末年始の休館および時間外開館休止の期間は下記のとおりです。

	休 館 期 間	時間外開館休止期間
本 館	12月27日(水)から 1月4日(木)まで	(平日は19時まで, 土曜日は15時まで) 12月25日(月)から 1月6日(土)まで
中之島分館	12月26日(火)から 1月5日(金)まで	(平日は19時まで, 土曜日は17時まで) 12月21日(木)から 1月10日(水)まで
吹田分館	12月25日(月)から 1月6日(土)まで	(平日は18時まで, 土曜日は14時まで) 12月25日(月)から 1月6日(土)まで

編集スタッフ 編集兼発行人 中野六郎 委員 上島順二郎(長) 木本明男 松浦 正
 津田恭司 山下 進 泉 文雄
レポーター 浅野次郎 田中久文 町井照子 小山靖裕 篠田恭子 河崎戎三

大阪大学図書館報 Vol.6 No.5/6 通巻30号 昭和47年12月1日(隔月刊) 編集発行人 中野六郎
 発行所 大阪大学附属図書館 豊中市待兼山町1の1(☎560) 電 豊中 068 (56) 1151 内線 2138